



# 元気みなぎる通信

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6  
TEL・FAX：0986（77）5298

## 《2年目を迎えて》

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、川内たかゆき並びに後援会に対し多大なるご支援を頂き誠にありがとうございます。

市議会議員として1年が過ぎ、2年目の議員活動が始まりました。この一年を振り返ると、反省点ばかりが浮かびます。素早い行動力と時代にあった発想力が求められる中で、ふるさと都城を元気みなぎる街にするにはあまりにもこの一年はお粗末ではなかったか、そのようなことばかりが浮かびます。頭の中の考えすべてを行動に還元していく難しさ、そのための知識、体力、自分にはまだまだ足りない部分が多くあります。市民の皆様からご支援いただくなかで、未熟な自分を日々反省する毎日です。

しかしながら、疲弊する故郷の現状を打破し、元気みなぎる都城を目指して更に更に走る所存です。どうか今後も引き続きのご支援を何卒宜しくお願い致します。



## ◎平成27年度一般会計当初予算成立

2月26日から3月24日まで3月議会が行われ、新年度の予算と各種事業を審議、採決いたしました。

一般会計当初予算総額は**751億2000万円**（前年比▲1.9%）となりました。前年度に引き続き都城のもつ3つの宝をより一層輝かす予算として「農林畜産業の振興」「地の利の活用」「人間力あふれる子どもたちの育成」に前年度に引き続き予算が組まれています。

## 《これまでの議員活動に関連する予算について》

### ◇6次産業化推進事業【予算額 5304万円】

6次産業化推進については、**26年3月、6月、27年3月議会にて一般質問**を行っています。一次産業である農業の発展並びに本市の特性を最大限生かせる分野として、議会のみならず日常的に行政側と意見交換、取り組み推進をしております。今後も6次産業化が本当の「産業」となるよう引き続き取り組んでまいります。

### ◇後方支援拠点都市推進事業【予算額 3386万円】

後方支援拠点、防災対策の重要性については**26年12月議会にて一般質問**しており、山之口スマートIC、都城志布志道路についても26年3月議会ですその重要性を質問しております。南海トラフ地震発生の際に、本市の持つ役割は非常に重要であり後方支援拠点として体をなすために何が必要かを議会を通じて訴えております。今回、拠点整備に向け予算が組まれましたが、市民の皆様のお安心安全を確保する観点からも引き続き取り組んでまいります。

### ◇子ども子育て支援事業「子育てマップ作成」「乳幼児医療費助成」「放課後児童クラブ」

子育てしやすいまち都城にむけて、子ども子育て支援事業のうち次の3事業について**26年9月議会にて一般質問**を行っております。「子育てマップ作成」は、分かりやすい子育て支援情報を提供するものです。「乳幼児医療費助成」については、未就学児の入院外自己負担額が5歳児から就学前まで800円だったものが未就学児一律「350円」に、入院については「0円」とするものです。負担の軽減並びに、負担のバランスについて議論してまいりました。「放課後児童クラブ」については、待機児童の問題や新年度からの新制度に基づく利用枠拡大への対応について議論しました。今回、放課後児童クラブの増設が予定されておりますが、今後も更なる支援の拡充について引き続き取り組んでまいります。

# 27年3月議会一般質問抜粋

## ◎中山間地域振興策について

問本市における中山間地域の割合は9割、宮崎県全体でも中山間地域の占める割合は9割に上る。中山間地域の抱える問題の解決なくして都城に明るい未来はないと考えますが、市長としてこの問題をどのように捉えているのか？

答) 地域課題に対処するため、地域振興基金2億円を財源に、25年度から28年度までの4年間を事業期間とし、地域活性化につながる様々な取組を支援する地域活性化事業に取り組んでいます。また、中山間地域等の振興に関する施策を総合的かつ横断的に取り組むために「都城市中山間地域等振興計画」を昨年3月に策定いたしました。

人口減少対策や、地方創生が大きくクローズアップされるなか、平成27年度に地方版総合戦略を策定する予定にしており中山間地域等の振興なくして、地方創生はなし得ないと考えております。



## ◎六次産業化の現状と対策について

問六次産業化が叫ばれて4年。この間、地方を取り巻く状況は大きく変わっております。六次産業化においても販路拡大を始めとする新たな課題に直面しております。地方創生においても重要視される六次産業化を市長はどのように推進していくのか？

答) 本市の基幹産業である農林畜産業の振興は、地域社会全体の発展につながるものであり、6次産業化はその原動力になるものと考えております。

さらに言えば、6次産業化を推進することは、農林畜産業と他産業との連携・融合による「新たな産業」を創出することでもあり、これによって地域の所得向上と雇用創出をもたらし、地域経済の活性化につながっていきます。だからこそ、やる気のある農林畜産業者の取り組みを積極的に支援し多くの成功事例を創出することにより、この6次産業を産業として確立させたいと考えています。

## 平成27年度 新規事業について (一部)

### ◎プレミアム商品券発行事業

本事業は、地方創生法案に絡み、地域の活性化にスピード感を持って対応するために取り組む事業です。詳細は協議中ですが、現時点で報告のあった内容は次の通りです。

- ・プレミアム率3割…例)10000円で13000円分。
- ・購入限度額…一人30000円。ただし、商工会議所及び6つの商工会それぞれでの限度額。利用範囲は各販売地域に限るが大型店舗でも利用可能予定。
- ・発売時期…平成27年7月より販売開始予定。

### ◎買い物困難者支援事業

中山間地域等における買い物困難者に対して移動販売を行うことで、買い物の機会を確保・維持し、合わせて個人消費の喚起を促すことを目的とする事業です。

- ・事業に取り組む業者…現在、公募中。
- ・事業対象地域…西岳、庄内、中郷、今町、大岩田、下長飯、山之口、高城、志和池、山田。
- ※対象地域は、高齢化率が30%以上、バスの運行本数が1時間に1本未満である、店舗数が少ないなどの地域。

## 《最近の活動報告》



【産業経済委員会 管内視察】  
公設市場、工業団地ほか



【耕作放棄地 現場視察】  
御池、志和池、山之口



【スポーツ議員連盟 勉強会】  
早水公園体育文化センター



【鳥獣被害対策 現地調査】  
山之口町永野、川内、正近